



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)6月25日号 No.1862

目次

■ 米ロ首脳会談の結果とそれをめぐる論調	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	8
■ 『ロシアNIS調査月報』2021年7月号のご紹介	19
■ トピックス	20
ロシア料理店が看板メニューをレトルト販売 / 20	
アルメニア議会選挙で与党勝利 / 20	
アシハバードは世界で最も生計費の高い都市 / 20	
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース / 20	

米ロ首脳会談の結果とそれをめぐる論調

はじめに

2021年6月16日、スイス・ジュネーヴにて、プーチン・ロシア大統領とバイデン米国大統領による初の首脳会談が開催された。今年3月のインタビュー時にバイデンが、プーチンを「殺人者」とみなす考えを肯定、これを端緒として双方の大使を自国に呼び戻す事態が発生するなど、米ロ関係は「冷戦後最悪」の状況とも形容され、今回の米ロ首脳会談は世界中が注目する中で行われた。

両大統領は会談の中で、戦略的安定、ウクライナ情勢、両国大使復帰の可能性などについて議論し、「戦略安定対話」およびサイバー攻撃に関する二国間協議の枠組みを設置することで合意した。大統領のみによる会談は行われず、最初にラヴロフ・ロシア外相とプリンケン米国国務長官が同席するクロージング会合が2時間行われ、その後、関係閣僚が出席する拡大版の会合が1時間15分行われた。計3.5時間に及ぶ会談の後、両大統領は共同ではなく個別に記者会見を実施した。

今回の会談について日本メディアは、予期しない対決を避けるため、協力可能な分野(特に核兵器削減)について話し合いが始まったという両国の現実的な対応に対して一定の評価をしているが、依然として平行線をたどる議論も多く、両国の問題は山積していることに対して懸念している。

本稿では、ロシアメディアで報道されている、ロシアおよび諸外国の専門家の意見や要人発言などを紹介し、米ロ首脳会談についてのロシア専門家・有識者の論調を提示したい。

米ロ首脳会談概要

米ロ首脳会談の概要は、プーチン・バイデンの両大統領が行った個別記者会見より伺うことができる。両国首脳の言説の中から、ロシアメディアが重要視したトピックを主に紹介する。